

# 実践シンポジウム

## 「新総合事業を社会参加に結びつける」

開催日	平成29年1月14日(土) 14時00分~16時00分
開催場所	岡山県医師会館 4階 第1会議室(岡山市北区駅元町19-2)
参加費	無料
対象	会員(岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会)及び 会員以外のどの職種の方もご参加いただけます。



✓ 講演① (14:00~14:30)

「こんなすごい活動やってます -居場所と食を身近で支える『なんだ村』の発展と仕掛け-」  
NPO法人「ホッと灘崎ボランティアネット」理事長 八田 和明 氏

✓ 講演② (14:30~15:30)

「機能訓練から社会参加へ  
-全国の運動サロン事業の嚆矢となった『いきいき百歳体操』開発の経緯と発展、  
そしてこれから-」  
高知市保健所長 堀川 俊一 先生

✓ 全体討論 (15:30~16:00)

「高齢者の社会参加の促進に、個人-組織-地域の様々なレベルで我々専門職はどう関わっていくか」

介護予防・日常生活支援総合事業(通称 新総合事業)開始の期限が平成29年4月に迫り、多くの自治体で新たな事業が始まりつつある。新総合事業については、非専門職によるサービス提供という面を捉えて、機能訓練サービス低下や、軽度介護サービスの切り捨てと断罪する意見もある。しかし、新総合事業は、従来の介護予防サービスがともすると機能訓練に偏ってしまい、社会参加に結びついてこなかった事態を打開する契機にもなりうる。その契機の鍵は住民の主体性であろう。

今回、岡山市南区で「居場所」と「食」をキーワードにまさに社会参加の場を作ってきている「なんだ村」の八田和明理事長に、これまでの活動の拡大及び、福祉通貨「ボラン」導入といった住民の主体性と活動の持続可能性を形にしてきた経過を報告いただく。さらに、全国に広がる機能訓練事業の嚆矢となった「いきいき百歳体操」事業が、そもそも筋力向上トレーニングとして発足し、やがて住民主体の社会参加プラットフォームとなった経緯を開発者である高知市保健所堀川俊一所長に紹介いただく。

お二人の報告に続いて、医療職や介護職、行政がどのようにしてフレイル高齢者の社会参加の促進に、個人-組織-地域の様々なレベルで住民の主体性を高めつつ、関わっていけるかを参加者で語り合いたい。

※岡山県医師会会員専用駐車場は台数が限られておりますので、公共交通機関にてお越しいただけますようお願いいたします。

※日医生涯教育講座：講演①・全体討論(カリキュラムコード：19/0.5単位)、講演②(カリキュラムコード：13、19/各0.5単位)

※プライマリ・ケア専門医・認定医更新のための単位2単位、プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位1単位

共催：岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会プライマリ・ケア部会

お問い合わせ先：岡山プライマリ・ケア学会(岡山県医師会内)

住所：〒700-0024 岡山市北区駅元町19-2 電話：086-250-5111 FAX：086-251-6622 MAIL：gakkai@p-care-okayama.com

参加申込書(返信先 岡山プライマリ・ケア学会 FAX：086-251-6622)

実践シンポジウム「新総合事業を社会参加に結びつける」(H29. 1. 14)

氏名	
職種	
所属	
TEL	